

雇用保険二事業に関する懇談会議事要旨

- 日 時：平成24年11月1日（木）15：00～17：00
- 場 所：職業安定局第1・2会議室（中央合同庁舎5号館）
- 出席者：川本裕康氏、高橋弘行氏（日本経済団体連合会）、瀬戸実氏、小林信氏（全国中小企業団体中央会）、橋本浩樹氏（王子ホールディングス株式会社）、間部彰成氏（日本・東京商工会議所）
- 議 題：平成23年度評価を踏まえた平成25年度概算要求への反映状況
- 議 事：
 - ・ 事務局より、資料に基づき説明。
 - ・ その後、出席者より主に以下のような発言があった。

【主な発言】

- ・ 雇用保険二事業全体について予算の縮減が行われているが、個々の事業の運営を考え、一律の縮減ではなく、必要な事業に予算を確保し、不要な事業は廃止する見直しを行うべき。
- ・ 雇用保険二事業全体の予算は縮減しているが、雇用安定資金残高は依然として厳しいため、重点化効率化を図るとともに、雇用安定資金残高の適正な水準を数値目標化していくべきではないか。
- ・ 本懇談会での評価に基づいた予算編成とすべき。
- ・ 雇用保険二事業の事業類型の中には、労働者のためになる事業や、国として普及・啓発を行う事業があるが、そのような事業は、二事業の趣旨からは遠いのではないか。
- ・ 雇用保険二事業財政に関して、失業等給付からの借入れの返済を優先する予算を組むよう検討すべき。
- ・ 失業等給付からの借入れについては、平成25年度予算において一部返済を予定しているとのことだが、平成24年度の事業執行の結果、返済が可能であれば、早期に返済を行うべき。
- ・ C・D評価の事業は厳しく精査し、廃止・見直しを行うべき。特に、事業執行率が高いにも関わらず、目標が設定できなかった事業は、基本的に廃止の方向で検討していくべき。